

平成30年 萩市議会9月定例会

一般質問通告者

質問順序	議席番号	通 告 者	摘 要
1	11	森 田 哲 弘	9月10日午前
2	7	石 飛 孝 道	
3	18	宮 内 欣 二	午後
4	1	浅 井 朗 太	
5	8	佐々木 公 惠	
6	6	五十嵐 仁 美	9月11日午前
7	15	中 野 伸	
8	4	松 浦 誠	午後
9	12	関 伸 久	
10	2	小 林 富	
11	5	村 谷 幸 治	9月12日午前
12	3	瀧 口 治 昭	
13	14	長 岡 肇太郎	午後
14	13	西 中 忍	

質問順位	1	質問者	森田哲弘 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 暮らしに密着した交通網について	1. 暮らしに密着した地域公共交通網形成計画についてお尋ねします。地域公共交通網形成計画は、いつ頃を目途に策定されるのか。また、早急に取り組まなければならない、地域の対応についてお尋ねします。		
2. 萩市基本ビジョンの産業活力があふれるまちづくりについて	1. 活力ある地場産業の再生の取り組みについて、その内容をお尋ねします。また、現在萩市の中小企業・小規模事業者の状況の把握とその対応についてお尋ねします。		

質問順位	2	質問者	石飛孝道議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 集中豪雨やその他の災害による家屋の倒壊、敷地内での崖崩れ等への救済について	<p>1. 復旧に伴う費用は、個人の敷地内であれば全て自己負担なのでしょうか。</p> <p>2. 勤務時間外や土日、祝日に災害が発生した時には、何処に連絡をすればよいのでしょうか。</p>		
2. 新規漁業就業者への支援について	<p>1. 若者新規漁業就業支援の対応はなされていますが、50才過ぎてのUJIターンによる就業者に対する支援はできているのでしょうか。</p>		

質問順位	3	質問者	宮内欣二議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. イージス・アショア迎撃ミサイル基地の自衛隊むつみ演習場への配備計画について	<p>1. 萩市のまちづくりに必要なものと考えているのか。</p> <p>2. 適地調査についてどう考えるか。</p> <p>3. 配備についてどう考えるか。</p>		
2. 周辺部の活性化と夢プランの策定について	<p>1. 周辺部となった地域での夢プラン作成の作業が進んでいるが、実現に向けてどんな手法をとることを考えているか。</p> <p>2. 周辺部活性化は、住民の責任で行うことなのか。</p> <p>3. 総合事務所の体制強化は進んでいるか。</p>		
3. 農業農村再生、農地保全に向け手法をどう考えているか	<p>1. 農業、農村の再生に向けての具体的な方向がよくわからない。どう考えているのか。</p> <p>2. 畜産の果たす役割をどう考えているか。繁殖牛経営による再生の道を考える必要があるのではないか。</p> <p>3. 旧須佐町などで行っていた「町有牛（市有牛）」制度など初期投資の軽減や支援策を具体的に打ち出す必要があるのではないか。</p>		
4. 国保料負担の軽減と子育て支援の充実について	<p>1. 子育て支援策の一環で、子育て世帯の国保料負担軽減のために、国民健康保険料算定の子どもの均等割の減免を行うことを考えてはどうか。</p>		

質問順位	4	質問者	浅井朗太 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 市道生野高坂線の 拡幅工事および山 間地域の市道の管 理について	<p>1. 市道生野高坂線の拡幅改良工事の今後の計画について</p> <p>2. 市内各地の市道の支障木や落石等の対応・管理について</p> <p>以上について、具体的な今後の対応をお尋ねします。</p>		
2. 今年度の重大事業 について、主に秋の 明治維新 150 年記 念事業・ジオパーク 推進事業について	<p>1. 明治維新 150 年記念事業「食の祭典」の事前告知について</p> <p>2. ジオパーク認定に係る費用から見る、ジオパーク認定後の活用、産業への影響をどのように計画し、どのように評価していくのか。</p> <p>以上について、具体的な今後の対応をお尋ねします。</p>		
3. イージス・アショ ア配備計画に関し て	<p>1. 計画内容および防衛省からの説明会に係る周知や情報公開について</p> <p>2. 市長（市）としての計画への対応について</p> <p>以上、イージス・アショア配備計画に関しまして、当通告書の締切日以降の情勢も踏まえてお尋ねします。</p>		

質問順位	5	質問者	佐々木 公 恵 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 猛暑が続く保育園や学校生活で子どもたちの健康を守るための取組みについて	1. 保育園や小中学校教室と屋内運動場にエアコン設置への具体的な取り組みは 2. 夏休みの延長や体育祭開催時期について検討は		
2. 女性が安心して受診するため市民病院に女性外来の標榜を	1. 女性特有の健康問題に対して女性医師をはじめ女性医療従事者で対応する女性外来への取り組みは		
3. 河川における大規模氾濫に関する防災・減災対策について	1. 内水氾濫に対する取り組みは 2. 水位計設置の目的、意義の住民への周知は 3. 「逃げ遅れゼロ」避難行動のとり方について		

質問順位	6	質問者	五十嵐 仁 美 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 性的マイノリティーの人たちの権利保障を求めて	<p>1. 市では、職員への性的マイノリティーの人たちの認識を深めるための研修が行われているか。</p> <p>2. 性的マイノリティーの人たちの相談窓口の設置や対応はできているか。</p> <p>3. 住民への普及啓発活動はどのように取り組まれているか。</p> <p>4. 学校の教職員、保育園の保育士への研修は行われているか。</p> <p>5. 性的マイノリティーの子どもたちへの対応は行われているか。</p> <p>6. 学校に正しい知識を身につけられる環境整備はできているか。</p> <p>7. 「みんなのトイレ」の設置は進んでいるか。</p> <p>8. パートナーシップ条例の制定は可能か。</p>		
2. 公立小中学校へのエアコン設置について	<p>1. 明倫小のPTA会長から、エアコン設置を求める切実な声が出ているがどう受けとめたか。</p> <p>2. 各学校の温熱及び空気清浄度の検査は行われているか。また、その結果をどう受けとめたか。</p> <p>3. 学校環境衛生基準の一部改正があったが、どう対応しているか。</p> <p>4. 萩市の公立小学校の普通教室のエアコン設置率は3.3%で県内13市中9番目となっている。この現状をどう考えるか。</p> <p>5. エアコン設置に国から補助があり、申請があった所には対応しているということだが、設置への取り組みの考えはあるか。</p>		
3. イージス・アショア配備について	<p>1. むつみの住民限定という住民説明会のあり方は最良であったと考えるか。</p> <p>2. 今後の住民説明会のあり方や説明会に参加できない市民への周知や意見の聞き取りの方法をどのように考えているか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>3. 市民ファーストを掲げてきた市長だが、今回は細かく市民の意見を聞く意思を感じないが、住民説明会以外で市民の声を聞いているのか。</p> <p>4. 経済的効果は考えていないということだが、配備賛成の人たちは交付金や人口増への期待を口にしてている。それについて正しい情報を得るべきではないか。</p> <p>5. 首長も積極的に意思表示をするべきという指摘もある。配備に対して市長自身はどう考えているのか。</p>

質問順位	7	質問者	中野 伸 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 明倫学舎の整備について	1. 旧明倫小学校3号棟・4号棟のあり方について		

質問順位	8	質問者	松浦 誠 議員
質問項目	質問事項及び要旨		
1. 離島留学について	1. 萩市の離島に全国から小学3年生～中学3年生までを対象に募集を行い、離島留学を実施してみたいかどうか。		
2. 既設のブロック塀等の安全確保について	1. 通学路および、既設のブロック塀等の点検と安全確保について。		

質問順位	9	質問者	関 伸 久 議 員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 萩市の観光をどう立て直していくのか	<p>1. 萩市の観光客数が目に見えて減少している。観光事業者からも今年は明治維新 150 年の記念すべき年であるにもかかわらず、観光客が例年に比べ少ないとの声を多く聞く。一方で、県内のこの一年の観光客数は過去最多の 3,318 万人を超えるとの新聞報道があったばかりだ。</p> <p>今年度においては、萩市も当初予算に萩版DMO推進事業に 7,021 万円を投入、観光課における予算額を前年度の 2 倍以上となる 7 億 7,332 万円を確保しているにもかかわらず、さしたる成果は表れていない。今後、萩市は人口減少が加速的に進むことは明らかであり、観光客を主体にした交流人口をいかに増やすかが生命線である。</p> <p>については、これからの萩市の観光戦略をどのように考えているのか。市長の考えをお聞かせ頂きたい。</p>		
2. 三見地区、旭地域にも定住促進住宅を	<p>1. 過疎化・少子化対策として、子育て世帯を対象に今年度も萩市の東部地域を対象に定住促進住宅を建設する予定になっている。その内容としては、道の駅「ゆとりパークたまがわ」の北側に木造 2 階建間取り 3LDK を 3 戸建設する予定であり、これで東部地域は 4 事例目となる。当初は平成 25 年 7 月の東部地域の集中豪雨被害からの復興目的もあったと思われるが、過疎化・少子化が進むエリアは東部地域だけではない。例えば、長門市を市境とする三見地区も、そして山口市を市境とする旭地域も高齢化率は 50% を超える。については、その対象を東部地域のみならず、近隣他市隣接エリアに拡充ができないものか。</p> <p>一方で、現在、東部地域だけを対象にしている定住促進住宅も一戸あたりの予算額は約 2,500 万円となり、かなり高額なものとなっている。財源については、市債と一般財源で構成され、ここに国や県の補助金がつくものではない。</p> <p>については、近隣他市のように分譲地にとどめ、定住を促した方が萩市の持ち出しも少なくなり、財政負担も軽減できると考えるがどうか。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
<p>3. イージス・アショアの開札は延期せず、適地調査を急ぎ、結論を早く出すべき</p>	<p>1. 先日、萩市・阿武町において3回目となる住民説明会が開催された。これまでの議論、住民要望を踏まえて、防衛省から照会事項に対して丁寧な説明、そして情報提供がされる一方、適地調査を行わないことで情報の正確性を欠く状況になりつつある。</p> <p>国も適地調査の結果、むつみ地域が適地でないと判断した場合はイージス・アショアの配備は行わないと明言している。ついては、これ以上開札を延期することなく適地調査に協力し、正確な情報を地元住民をはじめとした市民に届け、その上で判断を仰ぐべきではないか。</p> <p>また判断を仰ぐ上で、配備された場合のメリットについても、ある程度示していく必要がある。それは誰が行うのか。萩市に他ならない。住民の判断根拠となる材料を提供していくことは萩市に課せられた務めだと思うが、市長の見解をお訊ねしたい。</p>

質問順位	10	質問者	小林 富 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
<p>1. セクシャルマイノリティ(性的少数者)の現状と子どもたちへの対応について</p>	<p>1. 今般、ひとりひとりが生き活きと社会で活躍できる状況を整備することは必要とされており、かつ、全ての人々にとって住み良い社会を築くことが求められています。この問題は、萩市だけでなく全国的に社会的認知度が低く、正しい認識や理解がないのが現状です。</p> <p>そういった状況下においては、ノーマライゼーション、すなわち、社会的マイノリティが当たり前に暮らせる方向に社会整備を進めることが重要となってきました。社会問題となっている性的少数者への社会整備と子どもたちへの対応および教育現場での課題について大きく3点質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 萩市においては、印鑑登録証明書の性別欄削除などを進めていますが、パートナーシップ制度(※パートナーの関係であることを証明する制度)は未だ整備がされていない状況です。</p> <p>パートナーシップ制度により手術の同意や共同での住宅入居など当たり前のサービスが受けられるようになりますが、萩市における今後の整備に向けたお考え、現状・課題についてお教えてください。</p> <p>(2) パートナーシップ制度の導入により各種サービスへ変化が生じますが、地元企業や団体などへの理解と周知の基盤整備がなければ制度導入後、運用面で課題が生じると思われます。</p> <p>今後、萩市内および山口県も巻き込みながら啓発活動や社会整備を進めるべきだと考えておりますが、どのようにお考えでしょうか。</p> <p>(3) 相談件数や実態として表面化しにくい性的少数者の問題ではありますが、統計上約7.6%が存在するといわれています。</p> <p>特に、子どもたちを預かる教育の現場で正しい理解と啓発が進むことは潜在的に子どもたちが悩みを抱え込むリスクを減らすこと、そして幼少期に自覚がないときには学校という存在が避難所となるため本案件について正しい認識と理解を教職員の方にさらに持っていただき</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>対応していただきたいと考えております。</p> <p>現在の教育現場での活動と今後の予定、そして、教職員に向けた活動予定をお教えてください。</p>
<p>2. 利活用を促進するための指定管理者制度における公共施設の管理・運営について</p>	<p>1. 公共施設の利活用の促進に向けた管理・運営方法については、全国の各自治体で事例調査や研究がおこなわれています。</p> <p>萩市においても公設民営の手段のひとつとして指定管理者制度がとられております。</p> <p>公共施設を民間が管理するという視点から、利益だけを目的とするのではなく、地域コミュニティの核としての機能や、設立主旨や社会背景にも配慮が求められます。</p> <p>社会福祉への貢献や地域雇用へ大いに寄与しているなどのメリットなどもある中で、更なるPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：官民連携）による最適な運営を目指すという観点から大きく3点質問をさせていただきます。</p> <p>(1) 既に指定管理者制度により導入されている施設について、公共施設という特性上、利用者人数増加やそれによる暮らし良さの向上なども求められております。</p> <p>指定管理者から蓄積されたノウハウや気づきを活かす仕組みとして詳細な事業検証やモニタリングなどが必要だと考えられますが、現状での取り組みについてお教えてください。</p> <p>(2) 積極的な管理・運営を検討するためには、施設の設置および管理に関する条例についても再考し、現状維持を前提とした管理・運営だけでなく施設の修繕やリニューアルも検討する必要があるかと考えておりますが、いかがお考えでしょうか。</p> <p>(3) 現在萩市が取り組んでいる萩市行財政改革推進プロジェクトチームを今後進める中で、上記の視点に基づき、地元の産業従事者や起業家、経営者などの有識者および既存施設の管理・運営者も参画いただきながら進めるべきだと考えていますが、いかがでしょうか。</p>

質問順位	11	質問者	村谷幸治 議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. ブロック塀の解体・撤去について	1. 市報8月号に掲載のあるブロック塀点検の告知について		
2. 「玉江沖田橋」の拡幅及び「市道奥玉江青長谷線」の道路拡幅について	1. 平成16年に地元要望による「玉江沖田橋」の拡幅について 2. 同じく平成16年に地元要望による「市道奥玉江青長谷線」の道路拡幅について		
3. 高等学校の定数削減について	1. 7月10日付けで県教育庁の高等教育課より平成31年度の山口県立高等学校入学定員数が発表されたことを受けての今後の取組みについて		

質問順位	12	質問者	瀧口治昭議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 道路の整備と道路周辺の整備について	<p>1. 市内を走る道路に覆い被さる樹木が各所に見られますが、降雪時や降雨時に道路上に垂れ下がり、強風時には、枝や樹木本体が折れて通行を妨げることが多く発生しています。緊急時の避難や移動、緊急車両の移動にも支障が起こればと考えられます。安全安心への予防措置として交通への影響が予測される箇所については伐採整備の必要があると考えますが市としてはどのように考えておられますか。</p> <p>2. 道路脇の雑草に対しては例年草刈り作業が実施されていますが、道路脇に堆積した土の為に本来の道路の幅が狭まり、雑草がその土の上にまた繁茂するという状態が繰り返されています。何年かに一度は土の除去などの根本的な整備が必要と考えますが、いかがお考えでしょうか。</p>		
2. 鳥獣害対策について	<p>1. 現在までの市内における鳥獣による農作物への被害の現状についてお聞きします。</p> <p>2. 現在までの駆除への取り組みと今後の取り組みについてお聞きします。</p>		

質問順位	13	質問者	長岡肇太郎 議員
質問項目	質問事項及び旨		
1. 子育て支援対策	1. 入園の要件について (離島および周辺部の状況)		
2. 減災対策	1. 生活道・通学路等の安全確認について (ブロック塀・危険建物等の点検および指導)		

質問順位	14	質問者	西中忍議員
質問項目		質問事項及び要旨	
1. 企業誘致の現状と今後の見通しは	<p>1. これまで何度も訴えているように、萩市の抱える最大の課題は、人口減少・少子化だろうと思います。</p> <p>市ではこの大きな課題を少しでも改善させる施策の1つとして、平成26年にトーフレ株式会社の工場を誘致しました。</p> <p>この企業誘致は、予算ベースで工場の増築用の土地取得費を含め約7億円という費用をかけて実現しましたが、当時、予算審査の中で、私も企業を誘致することで雇用の場が確保でき若者の市外流出を抑制することができるということや、多くの従業員が移住することで地域経済が活性化するのではないかという思いから賛成をしました。</p> <p>当初の計画では、操業時の従業員数は90人で、工場も増築し計画完了時には150人まで増やし、市内からの雇用を進めるというものでした。</p> <p>しかし、操業から4年がたった現在でも、工場の増築は行われていませんし、新卒の雇用は毎年あるようですが、中途採用などを含めた雇用の現状が雇用計画通りに進んでいるのかわからない状況です。</p> <p>そこで、トーフレ株式会社の従業員の雇用状況等が当初の計画に比べどうなっているかということと、雇用や工場の増築を含めた今後の見通しについてお尋ねします。</p> <p>あわせて、この件以外でも進めている企業誘致や起業支援等の施策の効果がどの程度出ているかお尋ねします。</p>		
2. 商業地域や市内全域で屋外広告物を規制する必要性は何か	<p>1. 萩市では、平成20年から屋外広告等に関する条例が施行されましたが、これまで何度か規則が改正され現在に至っています。</p> <p>私は、この条例について市内全域が規制されていることから違反が見つけにくく「正直者が馬鹿をみる」ことになる不公平なルールであることや、市内事業者の自由活発な経済活動を阻害するなどの理由で、規制範囲を限定してメリハリのある規制にすべきだと訴えてきましたが、前市長には理解してもらえませんでした。</p>		

質問項目	質問事項及び要旨
	<p>しかし、この条例について見直しを行うという方向性を市長が示したうえで、市民の意見を聞く会が現在、市内各地で行われています。</p> <p>同時に、変更点について議会でも説明がありましたが、改正案でも商業地域の規制が残っていたり、規制の範囲が市内全地域と広範囲になっていることなど、これまで指摘してきた問題点の改善は行われていないことから、この改正案について十分ではないと考えています。</p> <p>同時に、私は商業地域などに規制をかける必要はないと考えていますし、規制は行政でチェックできる範囲にとどめるべきだと思っています。</p> <p>そこで、商業地域や市内全域で屋外広告の色や大きさを規制する必要性は何かということについて、地域経済の活性化を前面に出して市政運営を行っている市長にお尋ねします。</p>